

複合ストレスの影響を受ける八重山地方のサンゴ礁保全・再生に向けたサンゴ認定制度の構築

活動地域 沖縄県八重山地方

フロントランナー助成
5年目
調査研究

フレンドシップ登録者数	76人・団体
ガイドライン	7分野
今年度計画の達成度	100%
全体計画の達成度	100%



八重山うみしまフレンドシップ交流の集い

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

パンデミックの影響で現地調査、聞き取り調査、普及・啓発活動ができず、ステークホルダーとの関係構築や認証制度の調整が滞った。ミーティングはオンラインに切り替えた。

■工夫した点

認証制度ではなく、登録制度として制度構築をした。認証レベルの基準はガイドライン化することで、その深化・発展を促す戦略に切り替え、これを達成することができた。

課題

八重山のサンゴ礁生態系を保全・再生するため、赤土流出や栄養塩類の低減、海域の過剰な利用を転換する等影響を低減し、海域の環境に適した状態へ回復する必要がある。

目標

八重山のサンゴ礁への様々な影響を低減するため、環境負荷の低減や保全・再生につながる取組みや製品等を認定する制度の構築と普及を図る。

活動内容と成果

今年度は、①サンゴ礁に配慮した事業や生活の輪を広げる「八重山うみしまフレンドシップ」をキックオフし、②そのWebサイト構築、③栄養塩低減のためのパイン栽培実験での実態解明に基づく化学肥料低減のガイドラインの作成、④居住者、海の観光、飲食店、宿泊施設等のガイドラインの作成を行い、これらを達成した。フレンドシップの参加・登録者は76人・団体である。また、⑤普及・啓発活動として、2022年4月の「八重山うみしまフレンドシップ」のキックオフ・フォーラム、2023年3月に交流の集いを開催しマスコミでも紹介された。



八重山の海と島のフォーラム

全助成期間の活動を振り返って

衰退する八重山地方のサンゴ礁の保全に向け、その影響とステークホルダーの分析を行うとともに、多様な関係者との意見交換等を通して機運を醸成しながら、海に配慮した事業活動や生活の輪を広げる「八重山うみしまフレンドシップ」登録制度を構築できた。今年度は、普及・啓発活動も実施でき、参加・登録者も76人・団体を得てさらに広がった。さらに、7事業分野でレベルアップのためのガイドラインを作成できた。



夏休みわくわくサンゴ教室

〒000-0000
沖縄県石垣市字石垣221番地
電話：0980-87-0935
E-mail：sangosho@dream.bbexcite.jp
HP：http://www.strata.jp/sangokikin/



今後の展望

今後は、フレンドシップ制度を活用した具体的なプロジェクトを展開していく。まずは、サンゴの生息にインパクトの大きいリンの島内循環を促す産業クラスター形成のプロジェクトを具体化する。また、新たな助成金の獲得や、委託事業の開拓等によりリソースを拡充し、活動の発展を図る。人材については、ボランティア人材の充実等を行うとともに、関心がある人材の参加を促してスタッフとして育成しながら、協力者も広げていく。

